

平成21年3月期
第2四半期決算説明会

2008年11月11日

森永製菓株式会社

将来予測・業績予想について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、計画、目標など将来に関する記述が含まれておりますが、これらは当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定を基礎としたものであり、将来における当社の実際の業績または展開と異なる場合があります。



第2四半期【連結】業績概況(08.4～08.9)

(単位:百万円)

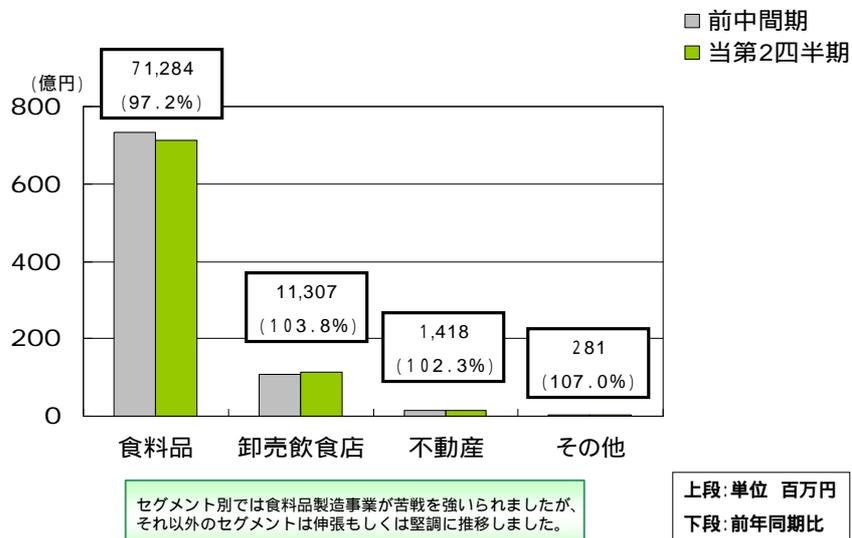
	当第2四半期	前同比較 (前同比)	既発表数値 増減額
売上	84,291	1,572 98.2%	4,309 95.1%
営業利益	1,945	1,189	205
経常利益	2,139	856	11
四半期純利益	1,036	744	86

売上高：適正価格への見直しを進めている商品群が低調に推移したため減収となりました。
 また、主力商品であるハイチュウとインゼリーの不振も減収の大きな要因となっています。

損益：製菓を中心にマーケティングコストの効果的な投入や、営業費の圧縮を図ることにより、
 原材料高騰を織り込んだ既発表数値に対し、営業利益、経常利益は微減となりました。

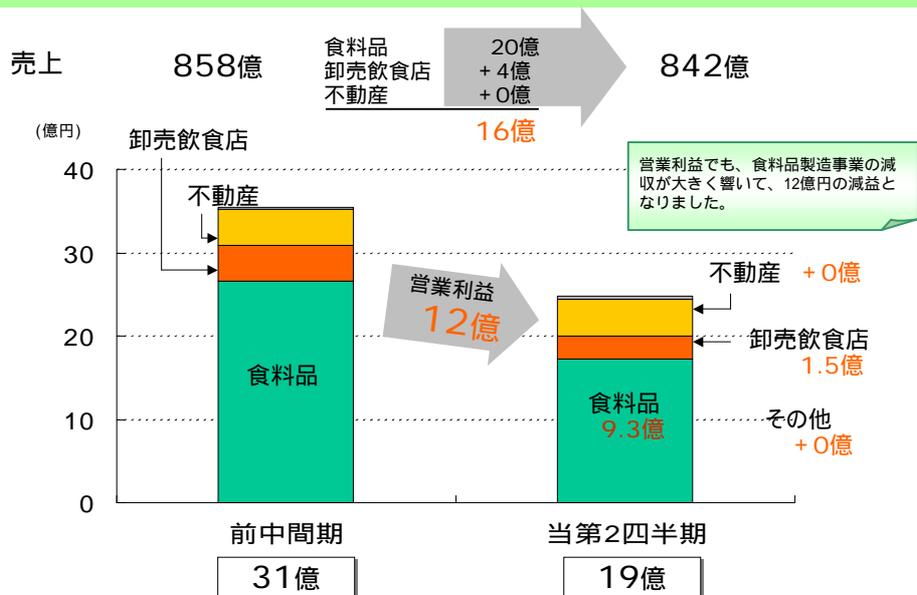


第2四半期【連結】セグメント別売上高



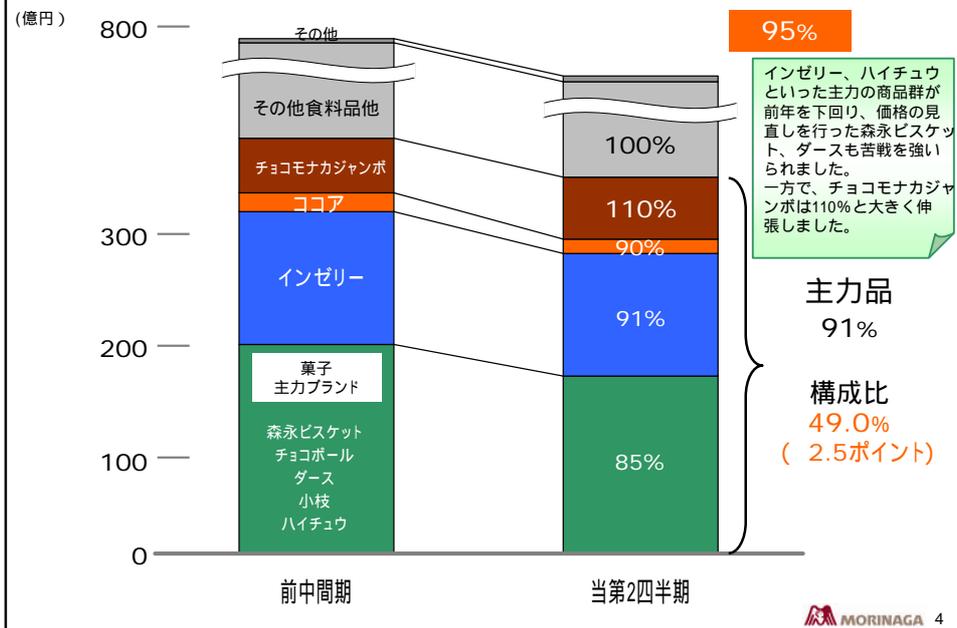
MORINAGA 2

第2四半期【連結】セグメント別営業利益



MORINAGA 3

第2四半期【製菓単独】売上ポートフォリオ



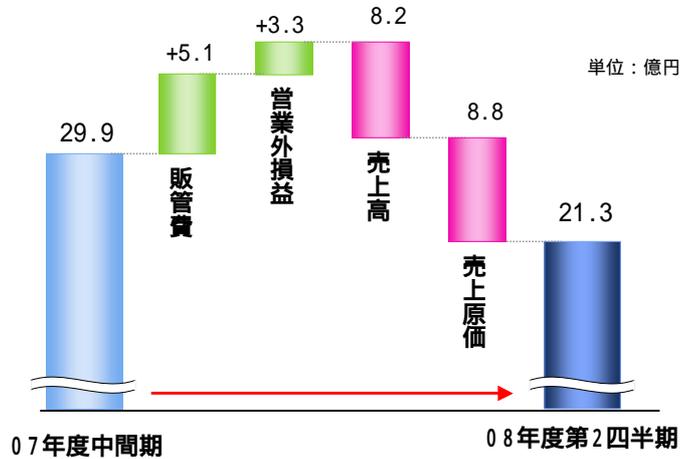
価格改定の取組み状況

改定時期	対象商品	前同比較
2007年12月	キャラメル	▲
	チョコボール	▼
	小枝	▼
2008年3月	ダース	▼
	チョコモナカジャンボ	▲
2008年6月	森永ビスケット	▼

(改定月より'08.09までの実績)

価格の見直しを行った商品群の改定時から2008年9月までの売上高と前年同期実績を比較しました。キャラメル、チョコモナカジャンボは改定価格での市場定着がスムーズに進み、前年同期実績を上回ることができました。一方、切り替えが進まず苦戦する商品群も多くみられ、中でも森永ビスケットの落ち込みが大きく、これはセール頻度の減少などの影響によるものです。

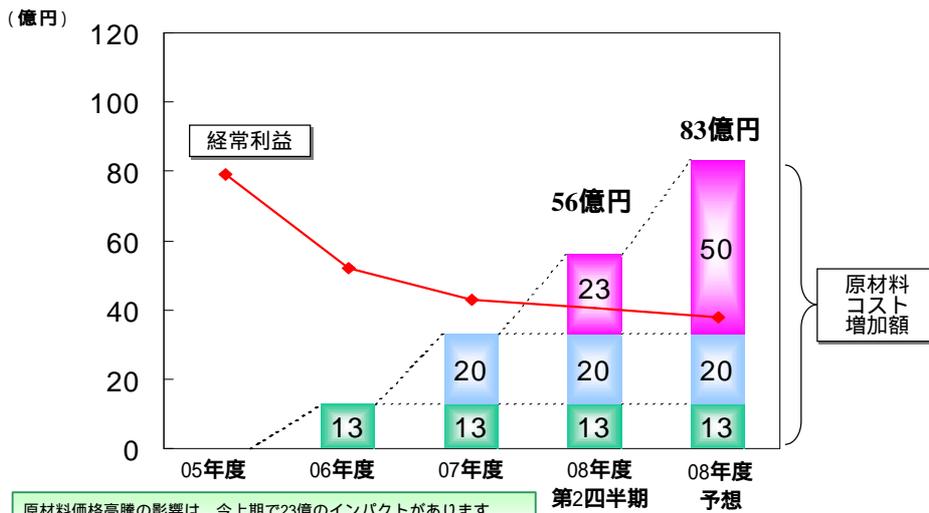
第2四半期【連結】経常利益増減要因



売上高の減少により販売費は削減できましたが、売上総利益に対して与える影響は大きく、利益を減らす結果となりました。また原材料の高騰による原価のアップも影響しています。結果経常利益は、前年同期実績に比べて8億強の減益となりました。

収益に対する原材料価格高の影響

単独経常利益及び原材料コスト増加額推移



原材料価格高騰の影響は、今上期で23億のインパクトがあります。若干の上げどまり感はあるものの、通期では期初の見込み通り、年間50億程度の影響を想定しています。

下期【連結】業績予想

(単位:百万円)

	予 想	前 同	前同比較 (前同比)
売上高	88,109	84,923	3,186 103.8%
営業利益	2,205	1,881	324
経常利益	1,861	1,564	297
当期純利益	814	585	229

足下では価格の見直しを図った商品群が市場で定着しつつあり、売上高を伸張させる計画となっています。その結果、前年同期実績よりも営業利益、経常利益、当期純利益とも増益の予想としました。

 MORINAGA 8

通期【連結】業績予想

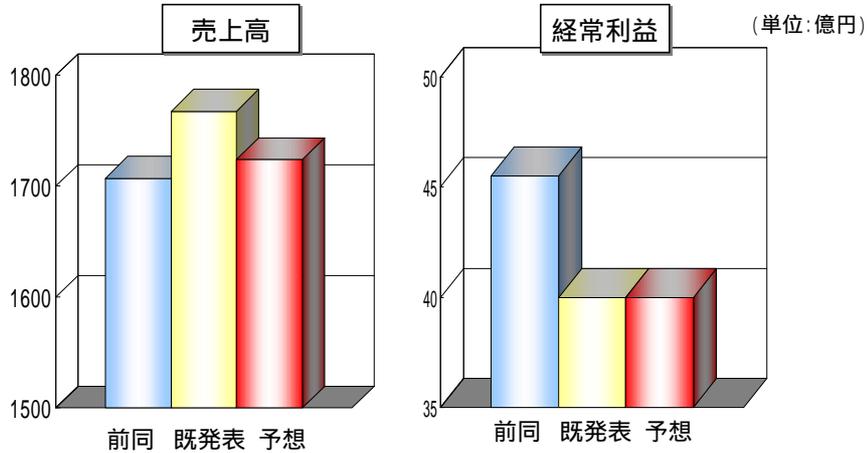
(単位:百万円)

	予 想	前同比較 (前同比)	既発表数値 増減額
売上高	172,400	1,614 100.9%	4,400
営業利益	4,150	865	0
経常利益	4,000	559	0
当期純利益	1,850	515	0

売上高は上期の落ち込みを補え切れず既発表数値に対して減収となりますが、利益では同水準を予想しています。

 MORINAGA 9

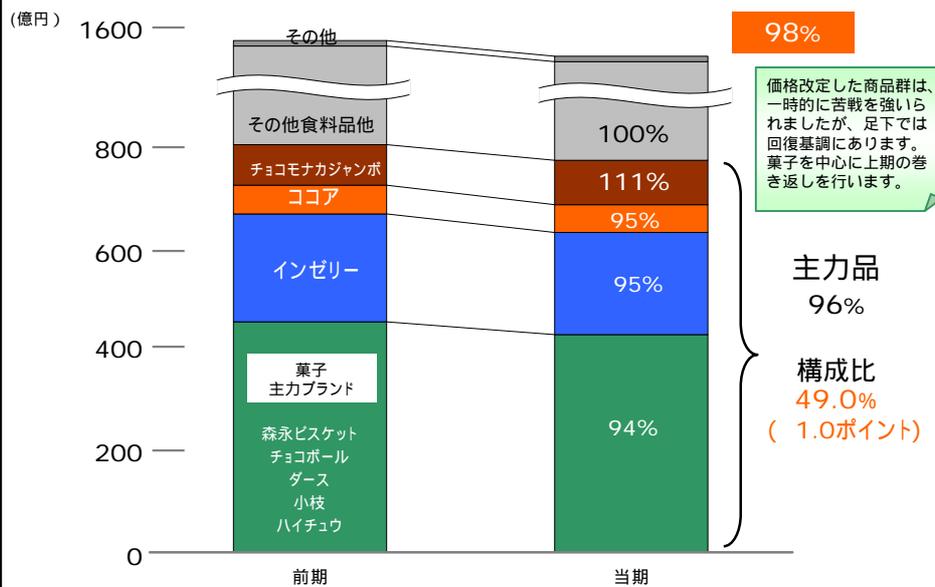
通期【連結】業績予想既発表との比較



下期取組み

- 価格見直し商品群の再定着化
- 生産効率向上に向けた全社業務改革運動
- マーケティングコストの効率的な投入

通期【製菓単独】売上ポートフォリオ



今後の成長性を求めて

現業の進化

- 主力ブランドの構成比を高め、収益力を強化
- 収益拡大を目指し、菓子事業の構造改革を実施
- 次期主力品の開発・育成
- 全社的なローコストオペレーション
- 生産効率向上を目指した業務改革運動の推進

「現業の進化」
戦略についての大きな変更はなく、主力品を中心に収益の拡大を図ります。

新市場の創造

- 清祥茶房を中心に、通販事業「天使の健康」シリーズを強化
- グローバル戦略の推進
 - ✓ 上海森永食品の収益改善…ビジネスモデルの転換
 - ✓ 北米へのハイチュウ販売を加速

「新市場の創出」
ハイチュウの米国展開が好調に推移しています。

第2四半期【連結】貸借対照表要約

単位：百万円

	第2四半期末	前期末	増減
総資産	136,634	135,909	725
流動資産	49,700	48,089	1,611
固定資産	86,934	87,819	-885
流動負債	43,793	45,443	-1,650
固定負債	41,448	38,316	3,132
純資産	51,392	52,149	-757
自己資本比率	37.1%	37.9%	-0.8%
有利子負債	30,601	30,269	332
純有利子負債	22,362	22,820	-458

商品及び製品 1,697

有形固定資産 270
投資有価証券 669

支払手形及び買掛金 586
短期借入金 2,601

長期借入金 2,933

利益剰余金 552
自己株式 381

第2四半期【連結】キャッシュ・フロー計算書要約

	第2四半期	前 期	増 減
営業活動によるC / F	4,264	2,375	1,889
投資活動によるC / F	-1,826	-2,022	196
財務活動によるC / F	-1,658	635	-2,293
現金・現金同等物為替換算額	-3	10	-13
現金・現金同等物増減額	776	999	-223
現金・現金同等物期首残高	6,435	3,506	2,929
連結範囲変更による増加額	13	-	13
現金・現金同等物中間期末残高	7,225	4,506	2,719

《主な内容》

営業活動によるC / F			
税金等調整前四半期純利益	1,805	3,020	-1,215
減価償却費	2,738	2,601	137
売上債権の増減額	221	-2,300	2,521
たな卸資産の増減額	-1,266	-2,695	1,429
仕入債務・未払金の増減額	759	4,267	-3,508
法人税等の支払額	-1,049	-2,237	1,188
投資活動によるC / F			
有形固定資産の取得	-2,642	-3,445	803
投資有価証券の売却	1,004	1,514	-510
財務活動によるC / F			
長短借入金(純額)の増減額	337	3,670	-3,333
自己株式の取得	-388	-1,379	991
配当金の支払額	-1,588	-1,619	31